

土木学会 コンクリート委員会

第2回 コンクリートの非破壊評価技術の信頼性向上に関する研究小委員会

(339 委員会) 議事録

日 時 : 平成 19 年 11 月 14 日 (水) 15 : 00~17 : 10
場 所 : 土木学会 2 階 EF 会議室
出席者 : (敬称略,順不同) : 鎌田委員長, 岩波幹事長, 大島幹事, 塩谷幹事, 吉沢幹事, 秋山 (代理 壹岐), 石崎, 岩城, 呉, 植木, 菅野, 菊地, 北川, 斎藤, 境, 重石, 鈴木, 則竹, 服部, 藤原, 桃木, 森, 森濱, 湯山, 渡辺 (徳大, 記録) 以上 25 名

配布資料 :

- 2-0 議事次第
- 2-1 第1回委員会議事録 (案)
- 2-2 委員名簿
- 2-3 所属 WG 希望調査結果等
- 2-4 「よくある質問」集
- 2-5 維持管理に関する日経コンストラクションの記事など (話題提供 : 吉沢幹事)

議 事 :

1. 開会の挨拶

鎌田委員長より, 委員会開催の挨拶があった。その中で, 本委員会の目的である「非破壊評価方法の理論化・標準化」および「非破壊評価方法に関する教育プログラム」について再度確認がなされた。また, 前回委員会を欠席した委員の自己紹介を行い, 岩波幹事長より欠席者の紹介等が行なわれた。

2. 前回議事録の確認

配付資料 2-1 により前回議事録の確認が岩波幹事長より行われ, 議事録として承認された。その中で WG 2「非破壊評価方法に関する教育プログラム」についてどのような範囲で行うのか意見交換し, 委員会メンバーでカバー可能な範囲で作業を進めることを確認した。また, 委員会発足時に, 塩谷委員と渡辺委員 (徳島大) に幹事を引き受けていただいていることを確認した。

3. 所属 WG 希望調査結果等の報告

配付資料 2-3 により WG 希望者の状況が岩波幹事長より説明された。WG の人数についてはとくに調整しないこととした。WG1 については主査を塩谷幹事, 副査を大島幹事とし, WG2 については主査を渡辺, 副査を吉沢幹事が務めることとした。

4. 話題提供 (吉沢幹事)

配付資料 2-5 により吉沢幹事から話題提供があり, 現在必要とされている技術における維持管理の位置づけや, 非破壊検査の適用事例, 発注者側が非破壊検査に期待する適用限界や精度と検査結果との相違, 発注者側への非破壊検査適用前の説明の重要性などについて説明がなされた。

その後の質疑の時間では, 地方での維持管理の現状や問題点, 適用事例に関する質問, 鉄筋の配筋状態の確認の重要性, 標準試験片や技術者認証などについて意見交換を行った。

5. コンクリートの非破壊試験に関するよくある質問について

配付資料 2-4 により「よくある質問」に関して各委員より簡単に説明がなされた。説明の後に質問

集をもとに Q&A 集を作成することや、標準化と理論化をどのように取り扱うか、誤差の取り扱い方などについて意見交換を行った。

6. 今後の活動方針に関するフリーディスカッション

次回以降の委員会では、各WGで全体委員会の前に1時間程度の話し合いの時間を設けて、活動を進めていくこととなった。次回の委員会では各WGにおける活動方針について幹事を中心にWG内で話し合いを行い、その結果について全体委員会で議論を行うこととした。

7. その他

(1) IAES-19 Kyoto について

塩谷幹事より、IAES-19 Kyoto に関する説明と参加の呼びかけがなされた。

(2) 各 WG のメーリングリストについて

メーリングリストについての作成要請があったが、しばらくは岩波幹事長からの委員全員宛でのメールに対して返信することで対応することとし、メーリングリストの作成は今後検討する。

(3) 委員会 HP

委員会 HP の充実のため、情報提供依頼が内田委員（大阪大）からあるので、協力する。

次回の予定

平成 20 年 1 月 30 日（水）

14:00～15:00 各 WG による作業

15:00～17:00 全体委員会

場所：土木学会 E・F 会議室

次回までの宿題（予定）

各 WG において、今後の活動方針案を作成する。

以上